

# 2023年度 4月号 国際医療福祉大塩谷病院 看護部だより 2022年度 教育委員会活動報告

## 2023年度看護研究発表会

2023年3月某日、感染対策を講じながらのポスターセッションを開催することができました。

看護部より7部署が看護研究発表を行いました。

昨年からポスターセッションを実施しており、今回は2回目の実施となります。今年度は、効果的なポスターの作成方法についての研修を開催し、各部署が効果的なポスターとなるような工夫を凝らしました。

また、看護師の多数参加を目指し、2部構成にしたことにより、多くの看護師が参加することができました。

今後の看護に繋がるような、実り多き看護研究発表会となりました。

心不全患者における再入院を繰り返す患者の実態調査  
キーワード：心不全、再入院

### I. はじめに

A病棟のB病棟は循環器内科を含む混合病棟  
心不全患者が半数以上

急性増悪で再入院する患者が少なくない

心不全患者の再入院予防に  
対する研究は多くされている

A病棟のある地域は高齢世帯が多い  
地域特有の問題が再入院の要因となっているかもしれない

現状を知ること、具体的な退院指導に繋がるのではないかと

### II. 研究目的・意義

B病棟の心不全患者で再入院を繰り返す患者には、どういった要因によって増悪、再入院に至るのかを明らかにする。心不全が増悪する要因を明らかにすることで、今後の心不全患者への退院指導をより充実したものへ繋げる。

### III. 研究方法

- 1)研究デザイン：量的研究
- 2)対象：心不全と診断され、65歳以上で心不全の増悪で前回入院から1年以内に再入院をした患者。
- 3)期間：7月～12月
- 4)データ収集の方法：電子カルテを使用し、年齢、性別、入院時のNYHA分類。アンケートを用いて患者の生活環境や背景（内服の管理や食生活、同居の有無）を収集する。
- 5)手順：電子カルテで情報を収集後、患者、家族へアンケートに回答して頂き分析する。
- 6)分析方法：単純集計とカテゴリー化を行い、内容分析する。

### IV. 倫理的配慮

研究内容について文章、および口頭で説明し、研究の参加及び協力は個人の自由であり、途中で辞退することも可能であること、研究による一切の不利益が生じないこと、個人情報保護を保障して実施していくことを説明し、同意書にサインをいただく。研究によって得られた情報は研究以外の目的では使用せず、本研究が終了次第破棄する。公表の際は個人情報が特定できないよう配慮する。また、当院の倫理委員会にて審査、承認を得る。

### V. 結果

・アンケート回収5名 ・再入院までの期間の平均91.4日 ・平均年齢84.4歳

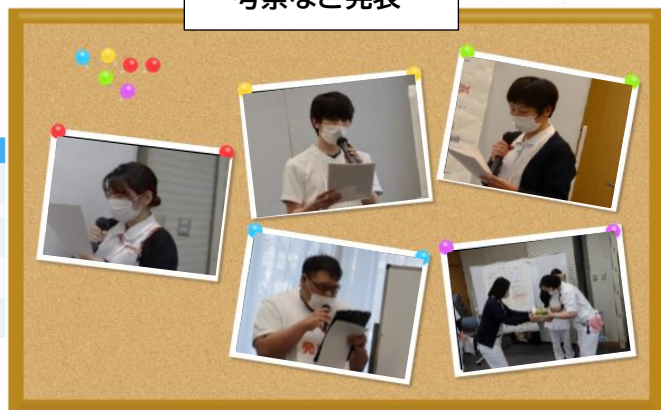
	年齢	再入院 まで	NYHA分類	家族構成	回答者	塩分制限	水分制限	血圧測定	体重測定	内服 管理	内服への 意識	内服の 実際
A氏	87歳	2か月 28日 (89日)	Ⅲ度	一人	本人	常に	まったく して いない	毎日	ほとんど して いない	本人	出て いる	○
B氏	79歳	11日	Ⅳ度	子と同居	家族	常に	時々	時々	時々	本人	だいたい	△不明
C氏	85歳	1ヶ月 15日 (54日)	Ⅲ度	子と同居	家族	常に	ほとんど して いない	時々	時々	本人+家族	だいたい	○
D氏	82歳	7か月 13日 (225日)	Ⅲ度	子と同居	家族	常に	常に	時々	時々	本人	出て いる	×
E氏	89歳	2か月 15日 (78日)	Ⅲ度	敷地内 同居	家族	時々	時々	時々	時々	家族	出て いる	○

### 各部署の発表内容

- ・コロナ3年目の職場内ストレス緩和に向けた取り組み
- ・研究内容を病棟や患者に還元していくための取り組み
- ・心不全患者における再入院を繰り返す患者の実態
- ・介護ミトン着用患者のハンドケア
- ・A病棟における医師-看護師間のコミュニケーションに対する実態調査 他



考察など発表



今後の看護に活用できる内容だった。患者の個別性が考えられた研究内容であり、参考にしたい。  
(アンケート結果より)